

# 川西町 地震ハザードマップ

保存版

いざというときに備えて事前の準備をしましょう

●非常備蓄品について 非常備蓄品とは、災害復旧までの数日間(最低3日分)自ら生活できるように準備しておくものです。

<b>食品</b>	米(毎食約1人1日のごはんなど量別)、缶詰、菓子類、梅干や調味料など。	<b>水</b>	飲料水は1人1日3リットルを目安に、湧き水から飲む。
<b>燃料</b>	卓上コンロ、固形燃料、予備ボンベなど。	<b>お年寄り・乳幼児用食品</b>	粉ミルクや離乳食、流動食、おかゆなど。

●家の内外について 対策や備えが済めばチェックをしましょう。

<input type="checkbox"/> 家具などの転倒防止固定	<input type="checkbox"/> 照明器具の固定	<input type="checkbox"/> ブロック塀、板塀の点検
<input type="checkbox"/> 重い物、危険物は低いところへ	<input type="checkbox"/> 風呂の残り水をとめているか	<input type="checkbox"/> ガスボンベの固定

地震が起こったら

**命を守る**

- 落ち着いて、自分の身を守る
- すばやく火の始末
- ドアや窓を開けて、逃げ道を確保する

**家族を守る**

- 家族の安全を確認
- 火の元を確認・初期消火
- 足をケガしないように靴をはく
- 必需品を手元に用意する
- 余震に注意

**地域を守る**

- 隣近所の安全を確認
- ラジオなどで情報を確認
- 電気のブレーカーを切る・ガスの元栓を閉める
- 家屋倒壊などのおそれがあれば避難する

**助け合いの心で...**

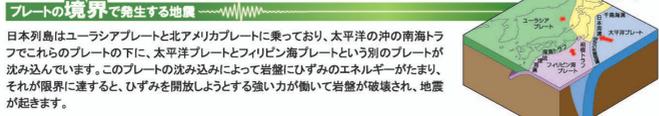
- 協力して消火・救出活動
- 生活必需品は備蓄でまかなう
- 災害情報・被害情報の収集
- 壊れた家には入らない
- 引き続き余震に注意
- 避難所では集団生活のルールを守る

## 地震発生のしくみ

わが国は、大きな地震がひんぱんに発生する、世界でも有数の地震大国です。川西町もいつ、大きな地震災害に見舞われるかわかりません。地震から大切な命を守るため、地震に対する危険性を正しく理解し、一人一人が自分でできる地震対策を考えましょう。

### ●地震はこうして起こる

地球の表面は、プレートと呼ばれる厚さ数10kmの岩盤で覆われています。プレートは1年に数cmくらいの速さで動いており、この動きが地震を発生させるエネルギーとなります。地震の起こり方は大きく2つに分けられます。ひとつは、プレートの境界で発生する地震、もうひとつはプレートの内部で発生する地震です。



**プレートの境界で発生する地震**  
日本列島はユーラシアプレートと北アメリカプレートに乗っており、太平洋の沖の南海トラフでこれらのプレートの下に、太平洋プレートとフィリピン海プレートという別のプレートが沈み込んでいます。このプレートの沈み込みによって岩盤にひずみのエネルギーがたまり、それが限界に達すると、ひずみを開放しようとする強い力が働いて岩盤が破壊され、地震が起きます。

### ●緊急地震速報とは

地震による強い揺れを、揺れが始まる前にお知らせする「緊急地震速報」は、報道機関や防災機関からみなさまに伝えられます。この「緊急地震速報」を見聞きしてから数秒～数十秒後に強い揺れが始まりますので、この間に身を守るための行動をとる必要があります。ただし、震源域に近い地域では「緊急地震速報」が強い揺れに間に合わないことがあります。



**緊急地震速報 利用の心得**

緊急地震速報は見聞きしてから、強い揺れが来るまでの時間がわずしかありません。その短い間に身を守るための行動を取る必要があります。

<b>周囲の状況に応じてあわてずにまづ身の安全を確保する!</b>	<b>家庭では</b> ●頭を保護し丈夫な机の下などに隠れる。 ●あわてて外へ飛び出さない。	<b>自動車運転中は</b> ●あわててブレーキをかけない。 ●ハイパーランプを点灯し、揺れを知らせる。 ●揺れたらゆっくり停止。	<b>鉄道・バス乗車中は</b> ●つり革・手すりにしっかりとつかまる。 ●揺れを知らせる。 ●揺れたらゆっくり停止。
-----------------------------------	--	--	--

## 川西町で起こりうる地震

川西町は、プレートの境界で発生する地震とプレートの内部で発生する地震の両方の影響を受けるおそれがあります。どのような地震に対して備えておく必要があるのかを、しっかりと理解しておきましょう。

### ●プレートの境界で発生する地震

太平洋の沖にあるプレートの境界では、東海地震や東南海地震、南海地震が繰り返して発生してきました。これらのうち、川西町に大きな影響を及ぼすおそれのある地震は東南海地震と南海地震で、この2つの地震が同時に発生する可能性もあります。前回の東南海地震・南海地震から長い時間が経過しており、近い将来にこれらの地震が発生するおそれがあります。

川西町域では、最大で震度6強が予想されています。

南海地震	東南海地震	東海地震
1605年	1707年	1944年
1707年	1854年	1946年
1854年	1944年	2008年
1944年	1946年	2008年

**大地震?**

### ●プレートの内部で発生する地震

川西町の周辺には、左図のような活断層の存在が確認されています。これらの活断層で地震が発生すると、震源に近い地域では非常に大きな揺れに襲われます。特に、左図で赤色で示した主要な活断層は、活動度が高く、地震を発生させる危険性が高い活断層です。なお、これら以外の活断層や、まだ確認されていない断層が地震を発生させることもあるので、注意が必要です。

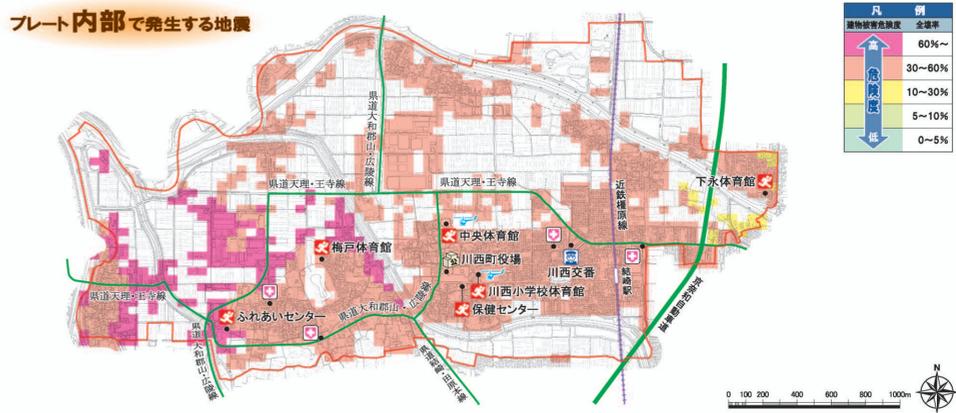
## 揺れやすさマップ

この揺れやすさマップは、川西町に大きな影響を及ぼす可能性のあるプレート境界で発生する地震(南海・東南海地震)とプレート内部で発生する地震(奈良盆地東縁断層帯及び中央構造線断層帯による2つの断層の想定震度を重ね合わせ、最大となる震度)の想定震度を表示したものです。



## 建物被害危険度マップ

この危険度マップは「揺れやすさマップ」で示した強さの揺れとなった場合に、建物に被害が生じる程度を表しています。危険度は1辺約50mのメッシュ単位で分割した地域に建っている建物の中で、全壊する建物の割合を相対的に示しています。危険度が高くなるほど、その地域で全壊する建物の割合が高くなります。



**地図の凡例**

避難所	警察・交番	医療機関	主な公共施設
ヘリポート	緊急輸送道路	鉄道	

**避難所**

名称	住所	電話番号
中央体育館	結崎1287-1	0745-44-1616
下永体育館	下永1248-1	0743-64-1989 (すばる子どもセンター)
梅戸体育館	唐院556	0745-43-0550 (いぶき子どもセンター)
川西小学校体育館	結崎255	0745-44-0021
ふれあいセンター	唐院122	0745-43-2530
保健センター(要援護者)	結崎217-1	0745-43-1900

**網警察署・交番**

名称	電話番号
田原本警察署	0744-33-0110
川西交番	0745-44-1360

**消防署**

磯城消防署	0744-33-2461
-------	--------------

**医療機関**

国保中央病院	0744-32-8800
--------	--------------

**公共施設**

川西町役場	0745-44-2211
-------	--------------

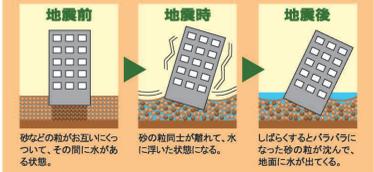


## 震度階級表

<b>震度 0</b> 人は揺れを感じない。	<b>震度 5弱</b> 多くの人が身の安全を固ろうとする。一部の人は行動に支障を感じる。
<b>震度 1</b> 屋内にいる人の一部がわずかな揺れを感じる。	<b>震度 5強</b> 非常に恐怖を感じる。多くの人が行動に支障を感じる。耐震性の低い木造住宅では、壁や柱が破壊するものがある。
<b>震度 2</b> 屋内にいる人の多くが揺れを感じる。眠っている人の一部が目覚めます。	<b>震度 6弱</b> 立っていることが困難になる。
<b>震度 3</b> 屋内にいる人のほとんどが揺れを感じる。恐怖感を覚える人もいます。	<b>震度 6強</b> 立っていることができず、はわなれを感じる。耐震性の高い木造住宅では倒壊するものが多い。
<b>震度 4</b> かなりの恐怖感があり、一部の人は身の安全を固ろうとする。眠っている人の、ほとんどが目覚めます。	<b>震度 7</b> 揺れにほんろうされ、自分の意志で行動できない。耐震性の高い木造住宅でも、傾いたり大きく破壊するものがある。

## 液状化現象って?

液状化現象とは、地下水位が高く、ゆるく堆積した砂地盤などが地震により激しく揺られると、土の粒子が水と混ざり合って、一時的に液体のようにやわらかくなることをいいます。川西町には河川沿いに広がる低地帯が多いため、液状化の危険性が高いと考えられます。



## わが家の防災メモ

わが家の避難場所	家族の集合場所
災害時の緊急連絡先	かかりつけ医

**●家族の連絡先**

家族の名前	生年月日	血液型	会社・学校の電話番号	携帯電話番号

**●いざというときの連絡先** 火事・救急119番 警察110番

連絡先	電話番号	連絡先	電話番号
川西町役場	0745-44-2211	川西交番	0745-44-1360
磯城消防署	0744-33-2461	国保中央病院	0744-32-8800
田原本警察署	0744-33-0110		

●災害時の伝言サービスを活用しよう  
地震などの災害発生時には、安否の確認や連絡用に各電話会社から災害時の伝言サービスが無料で提供されます。詳しくは、各電話会社のサービス内容をご確認ください。

**災害用伝言ダイヤル**

地震や洪水などの大災害発生時は、「災害用伝言ダイヤル」が開設されます。このサービスは、大規模な災害が発生した場合、「声の伝言板」(安否情報)の役割をする電話サービスです。被災地内とその他の地域の人々との間で、伝言の録音・再生をすることができます。

**録音** 1711をダイヤルし、ガイダンスにしたがって伝言の録音・再生をしてください

**伝言の録音方法** 1711をダイヤルし、1を押す

**伝言の再生方法** 1711をダイヤルし、2を押す

被災地の方も、被災地以外の方も被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤル

録音 再生

災害時以外でも、上記の伝言サービス体験できる期間があります。いざという時に伝言サービスうまく利用できるように、使い方の練習をしておきましょう。

体験使用ができる期間 ●毎月1日●防災週間(8月30日～9月5日) ●防災とボランティア週間(1月15日～1月21日) ※電話会社によって、体験使用できる期間は異なります。